

事業計画書

事業名	Weekend ENGLISH SUPPORT in Numazu
実施場所	オンライン
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和4年 4月 1日 ~ 令和5年3月 20日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

英語を日常的に使用するバイリンガルな高校生が先生となり、沼津市内に住む、または市内の小中学校に通う学生と個人の英語のスキルアップができる場を提供する。同世代の高校生がレッスンをすることで、参加者は学ぶというよりも一緒に活動する感覚で楽しく英語に触れることができる。また、英語力をつけながら英語好きな沼津の仲間を増やすきっかけにもなる。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

- 沼津の小学生の英語に対する苦手意識の克服や英語のコミュニケーション能力の向上。
- ネイティブな英語に触れてもらい、これからより必要となるグローバルコミュニケーションをとっていける人を地域に増やす。
- 無料レッスンとし、気軽に英語に触れ楽しむ場を提供する。
- 人とのコミュニケーションが減り、交流関係を築いていくことが難しいコロナ禍で、地域の高校生と小学生を繋げ、コミュニティを広げる。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検定会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>私達が企画する「Weekend ENGLISH SUPPORT in Numazu」は以下の通りに活動を実施します。</p> <p>沼津市在住、或いは沼津市の学校に通う小学生を対象に、気軽に英語を学べる場を提供する。講師となるのは、暁秀高校バイリンガルコースに通う英語に自信のある高校生達。</p> <p>学校や英会話教室の先生ではなく高校生というより近い年代が講師となる事で、参加者はいつもとは違った感覚で英語に親しみつつ、しっかりとした英語力を身につける事が出来る。沼津で共に英語を学ぶという参加者達の共通点は、英語学習に更なる刺激を与える仲間作りにも繋がる。</p> <p>例年通り、レッスンはその時応募してくれた参加者からフォームを送ってもらい、「初級」や「中級」、「ただ英語を楽しみたい」など様々なニーズに答える形で行う事を考えている。</p> <p>内容や難易度に関わらず、次の5点を念頭に英語を学んでもらう事を意識する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然な日常会話をする（フレーズを丸暗記するのではなく、ちゃんと自分の習った言葉を応用出来るようになって貰う） 2. 綺麗な発音で喋る（上手い下手に関わらず、ハッキリと分かりやすく喋れるようになってもらう） 3. 英語で書かれた単語、文章を読む（スライドなどを通して英語を読む練習をしてもらう） 4. 英語で単語、文章を書く（チャット機能を通じて問題に対する回答を書いてもらう） 5. 自信を持って英語を使う（全員が喋る機会を与え、英語で話すことに慣れてもらう / 英語で話す事を普通にする） <p>日時 原則月二回（長期休暇時も開講） 16時～17時</p> <p>打ち合わせは毎月初めにスタッフが集まり、日程や分担、レッスンの内容自体を計画する。 レッスン日程は決定し次第、当日の一週間前までにはメールや公式ラインを使用し発信する。その際に出欠確認を行う。年度最初のレッスンでは、初めての参加者も多いと予想されるため、事業の説明などをする。 レッスン当日は30分前に集まり、レッスンのリハーサルをする。 終了後は反省会を行い、次回への改善点を見つけ出す。</p> <p>実施場所 オンライン（主に ZOOM を使用）</p> <p>参加対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語が好き ・英語に対する苦手意識をなくしたい ・英語を楽しく学びたい ・実際に英語を使ってみたい ・英語力を伸ばした ・英語を通じて沼津市内に同世代の友達を増やしたい <p>という願望があって学ぶ意欲のある小学生。</p>

	<p>参加募集 チラシ・ポスターを作成・印刷し、市内の小中学校や施設に配布するほか、公式ウェブサイト、公式インスタグラムで参加者を募集。 申し込みは、ホームページ上で申し込みフォーム(チラシのQRコードからアクセス可能)を公開して基本情報(名前、性別、メールアドレス、電話番号等)を入力して送信してもらう。スタッフが受信したら確認メールを送る。公式ラインの登録をしてもらう。これら一連の作業が完了した時、参加者は「会員」として見なされる。</p> <p>ウェブサイト Eサポはウェブサイトを運営しています。これまでのレッスンの様子などを記載しておりますので、ぜひご覧ください。 リンク: https://esaponumazu.wixsite.com/englishsupport 「沼津 Eサポ」と検索しても出てきます。 年間スケジュール</p> <p>告知・参加者募集の計画実行 引き継ぎ準備 新メンバーの役割分担</p>
4月	<p>新メンバーミーティング Eサポの目標・運営方法・方針などを新しいメンバーで決める。去年の課題への対策や、メンバーが変わった上での運営方法の変更や、アイデア・計画などの話し合いをする。</p>
4月～7月	<p>オンラインレッスン (8回) 授業後に、参加したメンバーで反省をする・授業感想のアンケートを参加者に送る。</p> <p>月の終わりに、2回のレッスンの反省のまとめ、Eサポとしての課題への対策計画と実行について話し合う。</p>
8月	<p>Eサポの持続の為の対策を立てる。 将来の持続のために、活動資金の確保、Eサポメンバーと参加者の人数を増加し、安定させる為の実施計画を立てる。</p>
8月～10月	<p>オンラインレッスン (6回) 授業後に、参加したメンバーで反省をする・授業感想のアンケートを参加者に送る。</p> <p>月の終わりに、2回のレッスンの反省のまとめ、Eサポとしての課題への対策計画と実行について話し合う。</p>
11月	<p>来年度のメンバーの募集を始める。 下の学年のためのプレゼン準備、発表など</p>
11月～1月	<p>オンラインレッスン (6回) 授業後に、参加したメンバーで反省をする・授業感想のアンケートを参加者に送る。</p> <p>月の終わりに、2回のレッスンの反省のまとめ、Eサポとしての課題への対策計画と実行について話し合う。</p>
2月～3月	<p>引き継ぎ期間 新しいメンバーとの話し合い、役割決め、合同レッスンなど。</p>

	<p>オンラインレッスン（４回） 授業後に、参加したメンバーで反省をする・授業感想のアンケートを参加者に送る。</p> <p>月の終わりに、２回のレッスンの反省のまとめ、E サポとしての課題への対策計画と実行について話し合う。</p>
--	---

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p>			
<p>－ 海外で使える英語や外国人との会話で使える英語の習得 →バイリンガルの高校生が教える、日常会話で使える英語を教えることで、実際にコミュニケーションを取る際に実用的な英語を習得できる。</p> <p>－ 生徒たちは英語を「勉強」として捉えるのではなく、一種の「趣味」や「楽しみ」として英語に取り組むことができる。そして「英語への理解」や「英語への興味」を深めることができる。 →小学生や中学生はこのE サポを通して、「生の英語」に触れることができる。それも、E サポの先生が様々な工夫をこらしながら、生徒が楽しめるようにゲームなどを混ぜて行う。そして、結果的に子供達が英語に前向きに取り組むことができる。</p> <p>－ 英語の習得に一番重要な英語を「使う」ことをより密度の高い内容で行うことができる。また、わからないことをわからないままにしておこなったり、気軽に質問ができ、彼らの英語への興味を発展させることができる。 →高校生という小中学生の生徒にとっては年齢が近い身近な存在が英語のレッスンを行い、更に一人の先生が学校の授業よりも少人数の人に教えることによって、英語を使う機会が劇的に増える。</p> <p>－ 地域性の向上 →沼津市の高校生が沼津の小中学生を教えることによって、沼津という「地域」を意識する機会となる。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 参加者の人数やレッスン後のアンケートからの満足度で成果度をはかる。そして、ラインを追加してくれた人（会員）の数でも評価を行う。</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。 参加者や会員の数の推移を見る。満足度の推移も見る。 推移をみることにより、E サポの行うレッスンの質や生徒への受けを測ることができる</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「英語が学びたいけど、手軽に英語を学べる場所がない」という小中学生に気軽に英語を学ぶことのできる場を提供することができる 英語を学べる場というのを無償で提供することによって、将来世界で活躍し、地元貢献することのできる人材を育成するというきっかけになる
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 沼津に住む小中学生が、個人の英語のスキルアップのために気軽に参加でき機会を提供する 違う学年や学校の人と一緒にレッスンを受けることで、新しい人間関係を築き、若者の地元離れを食い止める効果を期待する 英語のスキルアップを図ることで、近年、沼津でも増えている多国籍の住民や観光客に役立たせることができる

<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生が、先生という立場になって小中学生の子供達に英語を教えるという独自性がある グローバルにコミュニケーションの取れる人材を作るという目的のもと自分たちが日常的に学んでいる英語活用し、他人に教えるという活動をしているというところに本事業のチャレンジ性が見られる 従来の Gmail での集客には限界があると考え、ENGLISH SUPPORT の公式ラインを立ち上げ、LINE にての集客を試みるという工夫をし、ここに手法の新規制があると考え 現在は、コロナ禍ということもあり外部との関わりがあまりないため、生徒の募集を募る際には系列の小中学校への呼びかけがほとんどである。そのためこれからはポスターなどを用いて外部との関わりを広げようと考えている オンラインでのレッスンということもあり、参加者にとってもやりづらいつ感じる部分があるため従来の対面でのレッスンと同じ環境づくりができるよう心がけている
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについてどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの人に参加してもらうことで、地域内での学校や学年を超えた交流を促進し、地域として団結した、学生同士の「助け合い」の体勢を構築していくことに繋がる。 同じ学校の後輩たちには、早い段階から活動について知ってもらい見学を繰り返すことでノウハウを確実に引き継いでいく方針である
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校も E サポの活動を理解しており、活動発展のために協力してくれている。 話し合いを重ねた綿密なレッスンに加え、レッスン後に開く反省会で出た改善点を元に、レッスン内容を濃くして行くことができている。 複数回レッスンに参加して下さった生徒さんもあり、生徒と良好な関係を築くことができている。コミュニケーションを図れる場所となっている。
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の子供たちに向けて、学校で習う英語を実際に活用する機会を提供することで、子供たちが自分の英語力に自信をつけ、留学に挑戦したりと、世界に向かって一歩踏み出すキッカケとなりたい。

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <ul style="list-style-type: none"> スポンサー集め <ul style="list-style-type: none"> 企業や団体が E サポの活動に理解していただけるような内容にし、最終的にはスポンサーになっていただき、資金面や物資面でのサポートをお願いをする 沼津のファンドが終わっても、継続して活動していけるような体制を作り上げる。 E サポの継承 <ul style="list-style-type: none"> 暁秀高校の高校生に E サポの運営を代々お願いしているので、次年度以降も受け継いで行ってもらおう。その際も後輩への教育を徹底し、E サポの授業の質を維持するよう心がける。常にアドバイスを行える体制やOBのサポートが行えるようにする。 イベントの企画 <ul style="list-style-type: none"> 外国人ゲストを呼び、特定のシチュエーションを想定し、どのようにコミュニケーションを取るのかの練習をする 全国の英語を学んでいる生徒をオンラインで集結させ、沼津と全国の生徒をつなげる。
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

● 成果

- ・オンライン授業でも参加者が積極的にコミュニケーションを取れるような授業を心がけた結果、最初は緊張や第二言語で会話をすることに慣れていない参加者でも徐々に発言を積極的に行うようになってきた。
- ・スタッフが季節やイベントに合わせたフレーズや語彙などを教えることで、意見などを発言する際に新しく学んだフレーズや語彙などを活用し、文章を作ることができていた。
- ・公式ラインを導入することにより、参加者とのやりとりがスムーズになった。また、気軽にメッセージを送り合うことができるという利点を活用し、公式ラインを通じて参加者の方々の相談や意見などについても聞くことができるようになり、より参加者との距離が縮まった。
- ・授業後に参加者からの感想フォームの入力を要求することで、参加者のレッスンの内容などに関する意見を聞くことができ、それを次のレッスンに生かせるようになった。また、参加者のレッスンで取り扱って欲しい内容を感想フォームで聞くことで、参加者の要求に沿ったレッスンをすることができた。
- ・スタッフ同士のミーティングの回数を増やすことで、レッスンの改善点や評価点などを共有しあうことで、レッスンの質の向上に役立てることができるようになった。

● 改善点

- ・レッスンのスタイルがオンラインに切り替わったことにより、スタッフの参加者への接し方やレッスンの内容が対応しきれていなかった。直接参加者とコミュニケーションを取り合うことができないオンライン授業は、参加者とのコミュニケーションの取り方が難しいため、参加者が緊張してしまったり、スタッフがレッスンを盛り上げられなかったりしたため、オンラインでも気軽に発言できたり、コミュニケーションを取り合えるような工夫が必要である。
- ・対象年齢が引き下げられたため、レッスン内容が主に、英語を話す機会を提供したり、緊張をほぐすためのレクリエーションが中心となってしまっていた。スピーキングやライティングなど幅広くレッスン内容を組めていなかったため、参加者がさまざまなスキルを身につけられるようなレッスン内容を組めるように工夫が必要である。
- ・レッスンがオンラインになり、参加者が急激に減ってしまった。オンラインでも参加者にとって意義のある1時間になるようなレッスンの工夫が必要。例えば、英語のレベルごとにクラスを分けたりし、そのクラスに合った内容ができるようなレッスンを行うなど。
- ・オンラインレッスンであっても「楽しい！わかった！」が多くある充実したレッスンを展開するため、オンラインレッスンや人に教えることについて専門家からアドバイスをもらい、教えることのスキルアップを図る。